

釣行記（2016/09/02 あかいか）

あかいかは今期2回目であるが、もう既にシーズン終盤となり、実質今年最後の出勤機会となる。今年は表年かどうかは分からないが、どの船もここ数年の不漁を補って余りある釣果と見聞きする。こんな年にあかいか出勤機会が2回。自分の運の悪さ（日頃の行いの報い）を噛みしめる。猛省しなければならないが、何を、どうしてが分からない。

長年使用してきたクーラーボックス。上蓋の外側が壊れ（粉碎し）た。（写真下左）



永年の劣化なのか。波高の日に思わず揺られ、尻餅をついたのがこの上蓋。直後外側にゴムの平板を貼り付け、割れの伝播を食い止めたつもりだったが、以降数回の尻餅衝撃について耐え切れず粉碎した。全体的にもひびが入り、使用に耐えられない状態となった。

親父の代から多分30年以上使い続けた代物。新品に買い替える手もあったが、親父の形見。簡単に捨てられないし、置いておく場所もないから修理することにした。夏休みの工作宿題よろしく、延べ約6時間の作業時間と、材料費約2,500円でなんとか実用に耐え得る形に仕上がった。（写真上右）使用結果としては上々の自己評価。今、普通に売られている同等のモノと比較しても機能や性能は全く遜色ないはず。壊れば直ぐに買い替える＝直すことができないモノが多いこの時代、アナログ時代の遺産を継承できたことは新品の価格・価値を遥かに凌駕し、何ものにも代え難い喜びとなった。これを買って、残して、譲ってくれた親父に感謝しなければならない。自分自身が存在することも。

さて、釣果の方は（何か特別に善い行いをした訳ではないが）、前回8月3日を上回る45杯。大満足の結果となった。何が良かったのか現時点では解析できていないが、単なる結果オーライではない何かを習得できたはずであるから、じっくりと吟味したい。

漸くコツを掴んだところでシーズン終了。また来年、コツを思い出す頃に終了か。